

平成28年度 行政評価事業別シート

<input checked="" type="checkbox"/> 実計対象	<input type="checkbox"/> 評価対象	<input checked="" type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 完了事業	<input type="checkbox"/> ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	中村健司						
全体計画			経費区分	—	内線	3612							
事務事業名	6730 小学校国際化教育推進事業												
所 属	300100 教育委員会事務局・学校教育課												
施 策	02010700 特色ある魅力的な学校づくりの推進												
予算 科目	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">会計</td> <td style="width: 90%;">01 一般会計</td> </tr> <tr> <td>科目</td> <td>100202 教育費・小学校費・教育振興費</td> </tr> <tr> <td>事業</td> <td>030000 小学校国際化教育推進事業</td> </tr> </table>							会計	01 一般会計	科目	100202 教育費・小学校費・教育振興費	事業	030000 小学校国際化教育推進事業
会計	01 一般会計												
科目	100202 教育費・小学校費・教育振興費												
事業	030000 小学校国際化教育推進事業												
事業目的	事業概要・効果												
児童が外国語を通して、言語や文化について理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育んでいく。また、外部講師による研修を行い、教職員の外国語活動指導能力を高めていく。	児童が直接外国人に接し、言語や文化について体験的に理解を深め、外国語の音声や基本的な表現に親しみながらコミュニケーション能力を育てていけるように役立てる。												

PLAN-DO**年度実績及び予定**

平成27年度 実績	平成28年度 予定
市内小学校へ、5・6年生に年20回、4年生に年12回、1～3年生に年8回、外国語指導助手（ALT）を派遣した。	市内小学校へ、5・6年生に年25回、4年生に年12回、1～3年生に年8回、外国語指導助手（ALT）を派遣する。
平成29年度 予定	平成30年度 予定
市内小学校へ、5・6年生に年25回、4年生に年12回、1～3年生に年8回、外国語指導助手（ALT）を派遣する。	市内小学校へ、5・6年生に年25回、4年生に年12回、1～3年生に年8回、外国語指導助手（ALT）を派遣する。
平成31年度 予定	平成32年度 予定
市内小学校へ、5・6年生に年25回、4年生に年12回、1～3年生に年8回、外国語指導助手（ALT）を派遣する。	市内小学校へ、5・6年生に年25回、4年生に年12回、1～3年生に年8回、外国語指導助手（ALT）を派遣する。

指標名	無し				
算式					単位
年 度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年 度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年 度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成27年度 決 算	平成28年度 予 算
事業費		6,833	6,937
特 定 財 源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		6,833	6,937
人 員 数 (人)	正規職員	0.0	0.0
	嘱託職員	0.1	0.1
	臨時職員	0.0	0.0
	計	270.5	270.5
人 員 コ 料		0.0	0.0
市 民 一 人 当 り の 経 費		0.1	0.1
総額		7,103.5	7,207.5

(単位：千円)

平成27年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	2,750	小学校外国語活動講師謝礼
11節 需用費	0	
13節 委託費	4,083	英語指導助手委託料
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

平成28年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	2,854	小学校外国語活動講師謝礼
11節 需用費	0	
13節 委託費	4,083	英語指導助手委託料
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の生命・財産を守るために市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	国際化教育の重要性が高まり、外国語によるコミュニケーション能力の向上は必要性が高いと評価している。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	英語を母国語、若しくは日常語として使用している講師と直接コミュニケーションを図ることで、児童に自信が芽生え、積極的にコミュニケーションを取ろうという態度が芽生えてくる。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	直接依頼する講師と、業者委託の指導助手で、バランスを取りながら実施している。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

夏休み期間中の教員対象研修は、他の研修と時期が重なり、参加者が少なかった。

ACTION**1次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	2次評価	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	2次評価コメント			
2020年、小5からの英語の教科化に向け、継続的に実施する。	外国語を通じ、言語や文化についての理解や積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育んでいくために、継続した事業の実施が必要である。			

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	